

なんでもインフォ

2018. 7月

発 行　株式会社 昭和土木設計
岩手県矢巾町流通センター南４丁目１−23
Tel 019-638-6834　Fax 019-638-6389

～ ETC 2.0とは！ETC 2.0のサービスについて紹介 ～

ETC 2.0 とは？

平成27年ぐらいからカーショップで見かけるETC 2.0って？これまでのETCとどこが違うのかわからないという人がいるかと思います。そこで、今回のなんでもインフォはECT 2.0についてふれてみたいと思います。

そもそもETCとは、Electronic（電子式）Toll（料金）Collectin（収受）systemの略で高速道路の自動料金支払いシステムですが、その従来のETCがバージョンアップしたものになります。自動料金収受のサービスはもちろんのこと、ITSスポット（通信アンテナ）での渋滞回避支援や安全運転支援などのサービスを受けることができます。



出典：国土交通省：ITS（高度道路交通システム）の推進HP～加工作成

ETC 2.0 のシステム概要とサービス概要

各地に点在するITSスポットの情報をもとに、様々な高速道路状況を教えてくれます。

なぜ、このようなシステムを導入することができるようになったかというとETC2.0で使用される専用通信「DSRC（狭域通信）」と呼ばれる通信方式を用いており、道路上に設置された通信アンテナと車載器が相互通信して情報のやりとりが可能となりました。

また、高速且つ大容量の情報を送受信することを可能としたことにより、運転支援システムといったサービスが行われるようになりました。



具体的なサービス内容としては、

- ○ 事故情報、渋滞情報をドライバーへ通知
- ○ 一部高速道路区間の料金を割引（首都圏、近畿圏）
- ○ 駐車場の利用料金決済、フェリー乗船時の手続き簡素化（施行運用中）
- ○ 案内するルートを辿れば利用料金を割引にするサービスを実施（予定）
- ○ 高速道路で一時降りて、再び高速道路に戻っても料金を同一化する（社会実験中）
- ○ ガソリンスタンドの給油料金、飲食店のドライブスルー決済の自動化（予定）

現在、ETC2.0は様々なサービスの導入が検討されています。

ETC 2.0 利用するには？ 導入費用

「ETC 2.0車載器」+「ETC 2.0対応のカーナビまたはスマートフォン」または「GPS付発話型ETC 2.0車載器」、「ETCカード」が必要になります。従来のETC車載器でハードウェアバージョンアップはできませんので、新しく、ETC 2.0対応の車載器を購入しなければいけません。

この前、カーショップで入れ替え導入費用について聞いたのですが、安価なETC 2.0車載器でも1万5000円～2万円、取り付け料金やセットアップ料金まで含めると、最低でも2～3万円の費用が発生します。ITSスポット（ETC2.0）サービスに対応していないカーナビですと、ETC2.0とカーナビが連動しませんので、ETC2.0を大いに活かすなら、ITSスポット（ETC2.0）サービスに対応したカーナビに交換する必要があるため、他に数万円～数十万円の費用が必要のようです。

ETC2.0普及促進のため、様々なキャンペーンなども行われているようですので、カーショップやホームページなどチェックしてから購入しましょう。

「ETC 2.0限定 一時退出」岩手でも・・

平成30年3月24日よりETC 2.0搭載車を対象に岩手県の道の駅「おりつめ」への高速道路からの立寄りの乗り直し料金が据え置きとなる社会実験が行われています。現在、一時退出実験対象の道の駅は、全国20箇所で展開されています。



出典：平成30年2月28日国土交通省報道発表資料～加工作成～

〈利用条件（九戸IC～道の駅「おりつめ」）〉

① ETC2.0 搭載車が対象です。（全行程で同一のETCカードをご利用ください。）
② 九戸ICでの乗り直しかつ順方向の利用のみ料金措置となります。
③ 道の駅「おりつめ」に必ず立ち寄る必要があります。
④ 九戸IC退出後、1時間以内に九戸ICから再流入してください。

出典：平成30年2月28日国土交通省報道発表資料～引用作成～

おわりに・・・

ある記事によると、ETC 2.0を実際に使用して、どんなところにメリットを感じているか聞き取り上位2件は、「情報のリアルタイム性」、「故障車、落下物、車線規制が事前にわかる安心感」となっておりリアルタイム情報がドライバーの安心が感じられているようです。

ETC 2.0は今後、高速道路を快適に利用する、または快適なカーライフのために今後、普及・発展していくものと思われます。今後のサービスに期待して導入を考えてみてはいかがでしょうか。

株式会社 昭和土木設計の紹介

弊社は、道路、河川・砂防、橋梁等の計画・設計、CIM, i-Constructionに対応した3次元空間計測及び設計を行っております。

”なんでもインフォ“のバックナンバーについてはhttp://www.showacd.co.jp をご覧ください。

配布者

作成者：コンサルタント事業部